**上越地域在宅医療推進センター**

**第二回在宅療養支援機能 スキルアップ懇談会を開催しました**

〇令和7年2月18日（火）19時より上越医師会館にて、第二回在宅療養支援機能スキルアップ懇談会を開催しました。大雪警報が出ていましたので、急遽の欠席もありましたが多くの方に参加いただきました。参加状況は、診療所医師会会員11名、地域包括支援センターケアマネジャー8名、居宅介護支援事業所ケアマネジャー17名、訪問看護ステーション看護師9名、上越市・妙高市行政3名、他１名、事務局3名、推進センターコーディネーター2名の54名でした。

〇懇談会の内容　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　▸訪問診療の実際（プレゼン）：揚石センター長　　　　　　　　　　　　　　　　　▸対談：**「ケアマネジャーの役割を知ろう」**　　　　　　　　　　　　　　　　羽尾介護保険部副担当理事　　　　　　　　　　　　熊木洋子（大潟居宅介護支援事業所）　　　　　齊藤拓志(知命堂病院指定居宅介護支援センター)　横田麻理子（居宅介護支援だいにち）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　▸テーブル懇談と発表（８グループ）　　　　　　　　　　　　▸全体のまとめ、アンケート記入　　　　　　　　　　　五十嵐介護保険部副担当理事に司会進行を務めていただき、定刻通り終了しました。　　　　　　　　　グループワークは地域性をなるべく考慮しました。地域包括支援センターのケアマネジャーさんにファシリテーターをお願いしました。どのグループも和やかで活発な意見のやり取りが行われました。

〇アンケート結果について（回収数43）　　　　　　1)懇談会の目的の理解　　2)訪問診療の実際　　　　　　3)医師とケアマネジャーの対談　4)グループ懇談　　　5)全体評価　　については５段階評価　　　　　　　　　　6)開催日への希望　7)自由コメント（テーマ希望・要望など）でアンケートを行いました。

1)～5)に関しては、全体集計・職種別集計ともに　①十分できた　②できたを合わせた評価が90%以上を占めました。ケアマネジャー、訪問看護師からは、“お互いの思いや現状を理解する機会になった”“医師と直接意見交換ができ、今後に繋げられる”という意見が目立ちました。

医師のコメントを拾ってみました。　　　　　　　　　（１）記載されていた意見　　　　　　　　　　　　　　　　　　▸ケアマネジャーの利用者担当数の多さ、多忙さ、　大変な気持ちがわかった　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　▸なかなか訪問診療数を増やせないが努力したいと思う　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　▸自院のケアマネジャーとの連携の少なさを確認し課題だと認識した　　　　　　　　　　　　　　　　　　　▸訪問診療をしていない医師が多いこと、他職種連携の重要性を確認できた

（２）次回、取り上げてほしい内容など　　　　　　　　▸連絡のやりとりの実際、工夫等をディスカッション　　　　　　　　　　　▸医療DXの使い方（介護DXはあるの？）　　　　　　　　　　　　▸対談は、事前にテーマを通達し、質問を募集してみては？

（３）参加しやすい曜日は？　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　▸第1希望と第2希望の合計では火曜日が多い

　　その他、全体の要望

　▸1月、2月は雪が多いので避けてほしい　　　　　　▸今後も先生との懇談会があるとありがたい







アンケートのご意見も参考させていただき　次回の開催を計画します。医師会の先生方が気軽にご参加いただける会になるよう、　　　工夫していきます。是非ご参加下さい。